



カピ！バラエティハウスの住人紹介 第一弾「カピバラ編」

平成24年の4月にカピバラと愉快的仲間たちが過ごす「カピ！バラエティハウス」がオープンしました。

これから数回に分けて、ハウスで生活している住人たちをご紹介します。

第一弾はずばり「カピバラ」です。

近年ではキャラクターとして人気に火が付き、癒し系動物として有名になりました。

まずはカピバラという生物についてちょっとだけ紹介させていただきます。



「カピバラさんだー」という声をよく耳にしますが、正しくは「カピバラ」ですのでお間違いなく。

英語で表記すると「Capybara」なので、それっぽく言うと**キャピバラ**になります。

アマゾン川流域を中心に南アメリカ東部の温暖な水辺に広く分布しています。**ブラジル**や**アルゼンチン**などサッカーの強い国に生息していると覚えて下さい。

カピバラはブタやカバの仲間にも見えますが世界最大の**げっ歯類（ネズミの仲間）**です。

ネズミの仲間なので**鋭い門歯（前歯）**が生えています。自慢の前歯で固い竹などもバリバリ食べることが出来ます。

また、泳ぎが得意で足の指には**水かき**が付いています。鼻は水が入らないように閉じることが出来ます。



鋭い前歯



水かきのついた脚



泳ぐカピバラ

ここからは、かみね動物園にいるカピバラをご紹介します。

カピ！バラエティハウスの完成に合わせてオスとメスの**2頭**のカピバラが新しく仲間入りしました。

オスの「**コタツ**」は埼玉県こども動物自然公園からやってきました。

平成23年の10月生まれで、まだまだ子供です。

おっとりとした性格で、リンゴが大好物です。

体をなでると全身の毛を逆立てて気持ち良さそうにします。

趣味は滝修行のようで、蛇口から出る水に頭から打たれています。

ちょろっと出している時ならわかるのですが、蛇口が全開のときでも果敢に挑戦しています…。



コタツ

メスの「ハナ」はオランダ生まれで那須どうぶつ王国からやってきました。

正確な生年月日はわかりませんが、個体の大きさからコタツと同じくらいだと思います。

入園当初はとても神経質な性格でしたが、今ではコタツよりも神経が太くなってしまいました。

エサを持っていくと「キュルキュル」と鳴きながら近づいてきてくれます。（日本語がわかるようになってきたのかな？）

チャームポイントは**濃い体毛と大きな目**です。

来園した日に「カピバラってこんなに黒い?」「カピバラって白目見えるんだっけ?」と2度も驚かされました。

2頭を見分けるときは**色が濃い方がハナ**と覚えて下さい!絶対にわかるはずです。



ハナ

2頭とも非常に仲が良く、いつも一緒に行動しています。

追いかっこをしたり、水遊びをしたりじゃれ合っている姿を見る事が出来ます。



以前のキャピバラの獣舎は外に小屋を作ったものでしたが、リニューアルで新しく寝室ができました。

しかし、寝室と展示場の間には園路があるのでこんな方法で出し入れをしています。

最初は戸惑っていましたが、今ではすんなり出入りしてくれます。



キャピバラ寝室



たまに寄り道することも…。コタツくん。



さらに獣舎リニューアルに合わせて、運動場に大量のクローバーの種を蒔きました。

すると…、見事な草原に変身。

全国的に見ても緑の中でカピバラを飼育している園館は珍しいと思います。（ちょっと自慢です。）

食べられても食べられてもめげずに生えてくるクローバー、きみは本当にエライ。

次は浮草を池に入れることを計画中です。



緑の中のカピバラ

癒し系動物として大人気のカピバラですが、しなやかな泳ぎや力強い走り、軽やかなジャンプなど、意外と知られていない面もたくさん持っています。

ご来園の際は、ぜひ野生動物としてのカピバラにも注目してみてください。

もちろんかわいい一面もたっぷりご覧ください。

2頭と一緒にお待ちしております。

カピ！バラエティハウスも担当 中本

2012年6月21日



ベストショット



ありがとう、ルナ。

先日お知らせにてお伝えしましたが、平成24年5月18日未明、チンパンジーのルナが亡くなりました。推定44歳でした。



生前のルナ

推定1歳で来園し、「ルナちゃんの小学生生活の1日」といったショーを行い、テレビで取り上げられるなど、ちょっとした有名人だったんですよ。



白黒で分かりにくいですが、当時のショー風景

ショー引退後は、他のチンパンジー達と一緒に暮らし、子供は産めませんでした。5歳で母親を亡くしたユウを厳しく育てあげました。

平成24年で55周年を迎えるかみね動物園で、実に43年もの間暮らし、現在働いている飼育員よりも長く当園におり、誰よりも歴史を知っている存在でした…

そんなルナを偲んで、平成24年6月3日にはお別れ会を行いました。

お別れ会当日の献花台にはすでに沢山の方々から花束や、メッセージが寄せられ感謝の気持ちでいっぱいでした。

さらには…



昔撮った写真を置いていってくれた方もいらっしゃいました。
大事に取っておいて頂いたのでしょうか。ありがとうございました。

お別れ会では最初に園長、飼育担当者からルナの思い出をお話ししてもらいました。

長年飼育を担当してきた担当者はたくさんの思いを抱えており、大きな愛情を感じるお話し
でした。



その後は集まってくれた方々で献花、さらにはルナが大好きだったバナナも供えて頂きました。



ルナは性格的には自分が一番というタイプで、少し気性が激しいところもありましたが、優しい面も多くあり、人のことも大好きでした。



私が新人としてかみね動物園に入り、チンパンジーの担当に加わったのは平成23年の4月のこと。

チンパンジーの担当としてまず必要なことは、自分のことを覚えてもらい、認めてもらうことです。

当時いたチンパンジーの中でルナは特に厳しく、なかなか私のことを認めてくれませんでした。

挨拶の握手では何度も手を引っ掻かれそうになり、ヨーグルトをあげればスプーンを取られ、ひどい時は口に含んだ水をかけられることもありました…

それでも長い時間をかけ少しずつ距離を縮め、ようやく私という存在を認めてくれた時は本当に嬉しく、感無量でした。



チンパンジーの優しさ、賢さ、そして怖さという全てを教えてくれたのはルナでした。

一年ちょっとでしたがルナに出会えて本当に良かったです。

天国で昔の仲間たちと楽しく暮らしていることを願っています。

動物は命ある限り、必ず最後には死を迎えます。

もちろん分かりきったことではありますが、それが現実として訪れた時はやはり悲しく、色々なこと考えてしまいます。

しかし、悲しいからといってずっと落ち込んでいる訳にはいきません。

他にもたくさんの動物たちがおり、言い方が悪いかもしれませんがその動物たちには関係のないことです。

(もちろん動物たちにも「仲間がいなくなつてさみしい」という気持ちはあると思います。)

私たちには動物の死を無駄にせず、他の動物たちに活かすことが何よりも必要とされます。



ルナが大切に生きてきた仲間たちのためにも、これからも頑張っていきたいと思います。

現在かみね動物園では平成23年、平成24年と2年連続でチンパンジーが生まれています。

ルナはいなくなつてしまいましたが、他のチンパンジー達は元気ににぎやかに暮らしています。

お時間がありましたら、ぜひチンパンジー達に会いに来てください。

(チンパンジー担当 大栗)

2012年6月17日

トラ、水浴びはじめました

日中、晴れている日はとても暑くなりましたね。

日焼け止めクリームと帽子が欠かせない季節になってきました。

この時期、動物たちも暑さをのがれるため日陰に入っていることが多いです。

ベンガルトラも日中は日陰で休んでいることが多いのですが、最近はこの光景がよく見られます。

左：アキラ（オス） 右：さわ（メス）



まるで露天風呂のようですが水につかっています。



ああ～気持ちいい～
…と言ってるのかな。

トラはネコ科の動物には珍しく水遊びをします。
「さわ」は水につかるのが大好き。
きっと涼しくなるのでしょうね。

この光景は最近よく見られるので遊びに来た際は注目してみてください。
ババンババンバン…のフレーズを思わず口ずさむ担当者でした。

（飼育員 かわそえ）

ウィルお別れガイド&きぼうのいま



平成24年6月3日に先月亡くなったライオンのウィルのお別れガイドを行いました。



ライオン飼育に長年携わった前担当者と現担当者である私からウィルについて思った事感じた事をお話させていただきました。
多くの方々が足を止めて聴いてくれました。



そして献花台には花や手紙や写真がいっぱい…。
ウィルはとても愛されているライオンなのだと感じました。
本当に皆さまありがとうございます。



ガイド終了後はウィルから採取したたてがみを触ってもらいました。
意外とゴワゴワしてる。とか毛が細い。とか色々な感想が出てきました。

これ、私の作り方が悪いため毛が抜ける抜ける。
ごめんなさい、もう少ししっかりしたの作ってきます。

さて、ウィルの息子「きぼう」は今どうしているかというと…



かなり育ちました。
きぼうの赤ちゃん時代を知っているお客さんはその大きさに衝撃を受けるようです。
たった1年で母ちゃんより大きくなったもんなあ。

でも中身はまだまだ子供。
バルミー母ちゃんにぴったり寄り添って…



母ちゃ〜ん



母ちゃ〜ん



母ちゃ〜ん



父ちゃんほどじゃないけどたてがみも生えてきたんだぜえ。
ワイルドだろお？

優しいバルミー母ちゃんとちょっとワイルドになったきぼうにぜひ会いに来てください。

(飼育員 かわそえ)

2012年6月8日

「カピ！バラエティハウス」が本格オープン

平成24年6月1日から「カピ！バラエティハウス」が本格オープンしました。

変わった名前の建物ですが、カピバラと小さな仲間達が暮らす楽しい家をイメージして命名しました。



これまでは、動物を新しい環境に慣らすために寝室での展示でしたが、満を持して放飼場をオープン。

と、言いたいところなのですが、ヤマアラシとハクビシンは放飼場に出る事が怖いので出てきてくれません…。

頑張って練習していますので、今しばらくお待ちください。



気になるんだけど…

カピバラとアライグマは放飼場で元気に遊ぶ姿がご覧になれますのでぜひ遊びに来てください。

これからブログで数回に分けて住人を紹介していきますのでどうぞ期待ください。

(カピ！バラエティハウスも担当 中本)

2012年6月7日



ここが安心



木に登って遊ぶアライグマ



トンネルをくぐるアライグマ



水の中でじゃれあうカピバラ（上コタツ、下ハナ）



昼寝するタヌキ（左ムギ 右コメ）



お食事中のプレーリードッグ

チンパンジー「ユウ」が20歳に

かみね動物園で生まれ育ったチンパンジーの「ユウ」君が平成24年5月6日、20歳になりました。



ユウ

そこでお祝いとして、平成24年5月27日に特製ケーキをプレゼントしました。

ケーキはパン、生クリーム代わりにヨーグルト、イチゴやチェリー、キウイ、スイカ、オレンジ、グレープフルーツなど沢山のフルーツを使って作りました。

ケーキをガラス前に置き準備完了。主役であるユウの登場を待ちます。

皆様の期待が高まる中、ついにユウが登場。一目散にケーキめがけて走っていきます。（出てきた瞬間の写真は撮れませんでした…）

普段はこれほどパンやフルーツをあげないので、大興奮のユウ。
口にヨーグルトをつけ、かなり満足な様子

半分以上ひとりで食べたので、他のチンパンジー達にもおすそわけと思い、ゴヒチ、マツコも展示場へ。

すると…

ゴヒチの方がユウよりも強いため、ユウは両手にパンを持ち後ろに下がって行きました…
（写真の手前がゴヒチ、奥がユウ）

さらに…



かなり豪華な内容。

ブログ筆者は今年になってチェリーなんてまだ食べてません…

さらに今回は毎月第4日曜日に行っている「おサルサンデー」の企画として、お客様にケーキの盛り付けをして頂きました。



多くの方が集まってくれました。

屋内展示室では主役のユウが何かに気付いたのかそわそわ…



普段はチンパンジー達が過ごしている展示場へご案内。
ここで担当者がユウのお話しをしました。



好きなフルーツを選んでもらい、みなさんで一生懸命盛りつけをして…



見事完成。おいしそう。





マツコはゴヒチ、ユウよりも弱いため全く食べられず…（マツコには別のものを後であげました）

（写真の手前からゴヒチ、ユウ、マツコ）



しかし、諦めきれないユウはゴヒチが食べているところを超至近距離で見つめます。

そんなに見つめられたら、食べてる方も食べにくいでしょ、と思いましたがゴヒチは全く気にせずモリモリ食べ続け、結局ユウは譲ってもらえませんでした。



ユウとゴヒチによりきれいに完食。

食べ終わるとさっさとタワーに登りに行きました。

無事に20歳を迎え、多くのお客様にお祝いをしてもらいユウもとても幸せだったと思います。

参加して頂いた皆様ありがとうございました。

(チンパンジー担当 大栗)

2012年6月4日

過去の一覧

[令和6年](#)